

テーマ 『受講者の心構えと腰を痛めない介護方法』

1) お年寄りについて

年とともに元気のなくなつてゆく体を持った人々
我々より遥かに「死」に近い人々
我々より遥かに多くの事を見てきた人々

2) 障害を負ったお年寄りについて

体――寝たきり～家の中だけしか動けない～杖で外を歩ける
精神――痴呆～普通の精神生活～創作等のより高度な精神生活
心――寝たきりでも思いやり深い～歩けるが愚痴ばかり
状況は様々であるが、受けた『障害』の傷は深い
『障害』の元となるものは、脳卒中等の病や、交通事故等による

元に戻らない体、したいことのできない体、人の世話になり、家族の重荷となる体、これは、本人にとって世界の激変を意味する。

怒り、苦しみ、嘆き、うめき、――不条理の世界であり、本人だけでなく家族も似たような世界にたたき落とされる。

ここから自ら、また家族だけの力で立ち上げられる方は多くない。

3) 障害を負ったお年寄りに必要なものは

普通の人々と同じ、人間生活に基本的な事柄。
清潔、食事らしい食事、暖かい入浴、心地好い排泄。

自らの力では動かせず堅くなった体に優しく触れてもらうこと。

おしゃべり（自分の話に耳を傾け、うなずいてくれる人）。

家の外に出て外気に触れ、外の景色を眺める事、自然との触れ合い。

4) これらの方々への援助とは

いかにして沈んで堅くなった心に近づくか。
数年先の「死」を前に、限られた日々を人間らしく生活していただく
為にはどうしたらよいのか。

①心地好さの提供。②思い出づくり。③死に際のお手伝い

5) ボランティアの二面性

6) 最後に残るもの

7) 腰を痛めない介護方法、お年寄りの体の動かし方、

思いやりいっぱいV o 1. 2

発行 平成4年1月
発行所 三浦市保健福祉サービス協会
社会福祉法人三浦市社会福祉協議会
〒238-02
三浦市城山町6番6号
三浦市福祉会館内
0468-82-1111 内線377,379